

## 天溪 「夏のアルプス・オートルート 11日間」

### 第二部

オートルート (The Haute Route) はシャモニからツェルマットに至る山岳ルートですが、アローラを過ぎるとマッターホルンから遠ざかります。と言うのはスキーのオートルートはアローラから直線的にバルブリンのコルを越えツェルマットへ向かいますが、夏は通行できず大きく北へ迂回するからです。その為にトランのコル(2916 m)、マイドパス (2790m)、オウガストボードパス (2894m) と3カ所の峠を一日一つ越えて行きます。



(ヘルンリ小屋へ7/27日)

#### ○トランのコル

入山5日目、この日は朝から雲が多く旅の疲れか天気も気分も重め。そんな気分を癒してくれたのがエーデルワイス。昨日無かっただけに見つけた時は感激でした。このパス周辺はお花が綺麗ですが、今年は何時もと違う花が辺り一面に。その花は'おきな草' 6月のスイス・アルプスハイキングでも群生が有りましたがこの地もあちこちに群生が、それも若人から翁まで咲き方も様々に。余談ですが今年の北アルプスは'コバイケイ草'の当たり年。何年から何十年に一度の現象だと思えます。



(トランノコル7/25日)



### ○マイドパス

チナールからバスとケーブルを乗り継いでティノーザへ。ここはマッターホルンが遠望できますが、今日は見えず次回のチャンスに、と言っても次はおひざ元のツェルマットで。ハイキングをスタートして1時間、峠に向かって登り始めると綺麗なお花のジュータンが出現。今年は残雪が多かったせいか黄色をベースに白、赤、紫などの花が一杯でした。コルを越え暫く下りると現地の方の手招で再びエーデルワイスを発見、昨年気が付かなかった所です。



(マイドパス 7/26 日)





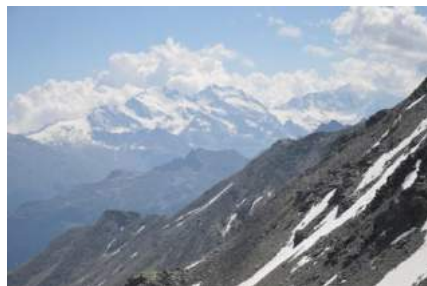


### ○アウガストボードパス

幾つも同じ様な峠を越えたので、恐らく参加の皆様は峠の整理が付かないままに最後のアウガストボードパスへ。ここは長旅の疲れに加え 1000mのアップ&ダウンが有る最後の難所。パスまで登るのも一苦勞なら、下りは左に切れ立つ中々スリルの斜面に一苦勞。所で、晴天続きで快適にハイキングを続けましたが何か一つもの足りなさが。何時も峠に到着するころ雲が湧き(午後)、連山の主峰が隠れるからです。午後も頂きを見たい皆様は、お花は無くなりますが晩夏がお勧めです！



(オーグストボードパス 7/27 日)



### ○ツェルマット

最終日のツェルマットは希望者をヘルンリ小屋へご案内しました。昨年は土砂降りでも中止でしたが今年は快晴に。シュワルツゼーまでケーブルで上がり、そのから歩く事2時間半。マッターホルンの頂上を目指すクライマーのロッジ、ヘルンリ小屋に到着。高度感を味わいながら美味しいスープとビールで乾杯し長旅の締めと致しました。



次回は半月の夏休みをいただいた後、夏ツアー後半の部 「ツールドモンブラン 10 日間」そして「チロルとドロミテハイキング 10 日間」をお伝えします。

記 天溪 赤沼